

研究課題「透析患者における肺癌切除成績に関する多施設後ろ向き観察研究」へのご協力のお願い

「わが国の慢性透析療法の現況(2013年12月31日現在)」による透析患者の死亡原因は心不全(26.9%)、感染症(20.8%)、悪性腫瘍(9.4%)、脳血管障害(7.2%)の順です。悪性腫瘍による死亡は2012年に比較して0.3ポイント増加しており長期的には漸増傾向にあります。

肺がんによる死亡は、悪性腫瘍中の第1位で、現在もなお増加の一途をたどっています。

その中で、今後透析患者の増加と高齢化に伴い肺癌症例の増加も予測され、現状を把握して、今後の診療に反映させていくことが必要と考えております。

本研究は総合国保旭中央病院外科が主導して行われる多施設共同研究です。日本赤十字社医療センターは、その一施設として本研究に参加します。

本研究は、日本赤十字社医療センターで治療・検査のために行われた手術に関する入院カルテや外来カルテの診察記録、X線写真・CT・PETなどの診断のために行われた画像、および病理組織診断のデータを用いた解析であり、手術を既に受けられた方に、この研究のために新たな検査や治療をおこなうものではありません。

この研究にご協力いただくかどうかは、研究参加者の皆様の自由意思に委ねられています。なお、研究にご協力いただけない場合にも、皆様の不利益につながることはありません。ご意見、ご質問などがございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

本研究の趣旨をご理解いただきご協力いただきますようお願い申し上げます。

また、この研究は、日本赤十字社医療センター臨床研究倫理委員会の承認を受けて実施するものです。

連絡先 日本赤十字社医療センター 呼吸器外科 古畑善章
TEL ; 03-3400-1311 (代) FAX ; 03-3409-1604

研究機関 総合国保旭中央病院外科
研究責任者 吉田幸弘 総合国保旭中央病院外科